

貴重な経験

福島県立医科大学 地域・家庭医療部 後期研修医 星 吾朗

まずは今回の海外研修に参加させていただきましてありがとうございました。諸先生方、小島さんをはじめ医療人育成センターの皆さま、研修参加を許可してくださった研修病院の先生方、快く歓迎してくださった SGH の皆さま、本当にありがとうございました。さまざまな人々の協力なくしては参加することさえもできなかつたと思っております。

僕はどちらかと言うと人見知りで新しいことになかなか挑戦するのをためらってしまうタイプなのですが、今回このような海外研修の案内をみつけたときも実は積極的に参加してみよう！という感じではありませんでした。興味はあるものの、踏み切れず・・・と悩んでいた折、今回研修に参加した鵜飼先生からの後押しもあり参加に結びつきました。無事に帰国した今は参加できて本当によかったと感じております。鵜飼先生ありがとうございました。

研修の目的として、「海外の医学や医療の状況を視察し、国際的な交流により視野を広げること、英語でのプレゼンテーション・コミュニケーション能力を高めること、更には同世代の海外の研修医との交流を図ること」が挙げられていました。

今回英語でのプレゼンテーションを初めて準備し初めて経験しました。同じ地域・家庭医療部の後期研修医の鵜飼先生と一緒に、日本の医療事情、医療問題、日本、福島での家庭医療についてプレゼンしました。日本とシンガポールの比較についても調べそれらを話題にあちらの先生方とディスカッションすることができました。英語でのプレゼンの準備にはノレット先生をはじめ、石川先生、大谷先生に大変お世話になりました。ありがとうございました。今回が自分にとっては最初のことですが、今後もチャンスがあれば積極的に挑戦していきたいと思っております。

先ほどの目的ですが、最低限はクリアできたものと思っております。実際研修に参加しこんなことができるようになったなどと具体例が挙げられればいいのですが、実際に挙げるのは難しいです。しかしその場に行き、目を見て、体験したものにしかわからない思いは必ずあります。今回の研修でいろいろな発見がありました。それは自分自身についての発見、一緒に研修に参加した仲間についての発見、日本についての発見、シンガポールについての発見、同世代の医師についての発見などさまざまです。そのような発見や思いを経験できたことに感謝し今後の人生に役立てていきたいと思っております。

今後もこの研修が続き、さらなる発展を遂げていくことを願います。そしてたくさん研修医のみなさんに貴重な経験を積んでほしいと思っております。